



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月1日

上場会社名 株式会社あじかん

上場取引所 東

コード番号 2907 URL <http://www.ahjikan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 足利 恵一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 兼 経営管理部長 (氏名) 澄田 千稔 TEL 082-277-7010

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日—

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,792	1.9	△16	—	△42	—	△46	—
2019年3月期第1四半期	10,596	6.0	257	43.0	367	70.9	268	106.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △67百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 211百万円 (43.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△6.08	—
2019年3月期第1四半期	35.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	25,667	12,226	47.6	1,608.61
2019年3月期	24,893	12,416	49.9	1,631.38

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 12,226百万円 2019年3月期 12,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注2) 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 特別配当 3円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,500	3.7	250	△39.7	300	△50.0	200	△51.2	26.28
通期	46,500	4.8	1,150	15.3	1,250	4.0	800	△13.1	105.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名）株式会社井口産交、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	7,700,000株	2019年3月期	7,700,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	99,653株	2019年3月期	89,053株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	7,600,347株	2019年3月期1Q	7,610,947株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、雇用・所得環境は改善基調にあり、景気は緩やかに回復いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦の長期化や世界景気の減速懸念などにより、金融資本市場が不安定な動きとなるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、食品の安全・安心への関心が高まる中で、輸入品や原材料価格は安定して推移したものの、個人消費は緩やかな回復にとどまっており、一定の厳しさを残した経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、『強い国内事業の実現』と『新事業の確立』をテーマとした第11次中期経営計画の2年目をスタートさせ、第一に「営業基盤の拡充と市場開拓」、第二に「商品の研究開発と技術開発およびマーケティング力の強化」、第三に「全社供給体制の強化と効率化」、第四に「品質管理の強化」、第五に「利益構造の改善」、第六に「経営品質・企業価値の向上」を重点施策とした取り組みを展開してまいりました。

また、2019年4月1日付で当社の基幹物流の一翼を担ってきた株式会社井口産交の全株式を取得し、当第1四半期連結会計期間より連結子会社化いたしました。これにより、当社グループは新たに運送事業を開始しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、10,792百万円（前年同四半期比1.9%増加）となり、前年同四半期実績を上回ることができました。一方、利益面につきましては、売上高の伸張はあったものの、人件費や車両費が大幅に増加したことや、ごぼう茶の広告宣伝、営業拠点の整備など、次期成長拡大に繋がる戦略的経費の計上を行ったことなどにより、営業損失は、16百万円（前年同四半期は営業利益257百万円）となりました。経常損失は、デリバティブの時価評価損などにより、42百万円（前年同四半期は経常利益367百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は、46百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益268百万円）となりました。

報告セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。なお、当社グループが新たに開始した運送事業につきましては、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントに含まれない事業セグメントとして「その他」に区分する方法で計上しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

①業務用食品等

販売面におきましては、つくば工場の生産品を軸とした新規開拓・深耕拡大への取り組みに加え、北海道、沖縄、甲信越、北陸、千葉など新規エリアにおける拡販体制をさらに強化してまいりました。他方、外食業態やベーカリー市場など、当社としては新たな業態に向けての販売促進活動にも注力してまいりました。これらの結果、当社主力製品である玉子焼類や蒲鉾類、水産物を中心とした仕入商品などの売上が拡大いたしました。調理済冷凍食品などの自社企画ブランド品の売上は、前年同四半期並みとなりました。

生産面におきましては、自社製造製品の売上高拡大により、一定の生産稼働率を維持することができました。また、鶏卵、椎茸などの当社主要原材料価格が安定して推移したことに加え、省エネ活動や、生産技術力の向上による歩留まり率の改善などの原価低減努力などにより、製造原価率は前年同四半期並みに抑えることができました。

しかしながら、人員増やベースアップに伴う人件費の上昇や、人手不足に伴う物流費の高騰などにより、販売費は大きく上昇いたしました。

これらの結果、外部顧客への売上高は、9,643百万円（前年同四半期比1.6%増加）となりましたが、セグメント利益（営業利益）は、390百万円（前年同四半期比16.6%減少）となりました。

②ヘルスフード

主力製品である「国産焙煎ごぼう茶 ごぼうのおかげ」および「つくば山崎農園産あじかん焙煎ごぼう茶」の2品について、当第1四半期連結会計期間より新たに機能性表示食品としての販売を開始いたしました。また、テレビCMや、紙媒体、電子媒体などで焙煎ごぼう茶の販売促進・広告活動を積極的に行いました。しかしながら、通信販売の売上は前年同四半期を下回る結果となりました。また、ドラッグストアなどでの市販品の売上も、新規開拓やインスタプロモーションの強化を行いましたが、前年同四半期実績並みにとどまりました。

これらの結果、外部顧客への売上高は、988百万円（前年同四半期比10.3%減少）、セグメント利益（営業利益）は、55百万円（前年同四半期比76.4%減少）にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ774百万円増加し、25,667百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ235百万円増加し、12,181百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金の増加132百万円、その他に含まれる前払費用の増加132百万円、原材料及び貯蔵品の増加106百万円、商品及び製品の増加69百万円、受取手形及び売掛金の減少195百万円、その他に含まれる為替予約の減少56百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ539百万円増加し、13,486百万円となりました。これは、株式会社井口産交子会社化に伴う有形固定資産の増加に加え、投資その他の資産において、繰延税金資産が増加したためです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ964百万円増加し、13,441百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ937百万円増加し、11,413百万円となりました。主な増減要因は、短期借入金の増加914百万円、賞与引当金の増加322百万円、支払手形及び買掛金の増加108百万円、その他に含まれる未払消費税等の減少190百万円、未払法人税等の減少161百万円、その他に含まれる未払金の減少93百万円などです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ27百万円増加し、2,028百万円となりました。主な増減要因は、株式会社井口産交子会社化に伴う長期未払金の増加54百万円、約定返済に伴う長期借入金の減少32百万円などです。

なお、当第1四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ881百万円増加し、7,638百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ190百万円減少し、12,226百万円となりました。主な増減要因は、為替換算調整勘定の増加35百万円、剰余金の配当による減少114百万円、その他有価証券評価差額金の減少52百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少46百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.3ポイント減少し、47.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間までの業績は、同業他社との販売・価格競争に加え、人件費を中心とした経費の上昇により、利益面においては当初予想を若干下回る状況で推移しておりますが、売上高につきましては自社製造製品を中心にほぼ計画通りとなっております。業績予想につきましては、原材料価格や為替の変動など業績に与える流動的な要素も多いため、現時点において、2019年5月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,454,506	1,587,074
受取手形及び売掛金	6,298,980	6,103,849
商品及び製品	2,605,583	2,675,108
仕掛品	31,277	43,979
原材料及び貯蔵品	1,204,935	1,311,131
その他	363,312	464,788
貸倒引当金	△12,772	△4,889
流動資産合計	11,945,824	12,181,042
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,025,973	4,082,441
機械装置及び運搬具(純額)	2,643,991	2,750,278
土地	3,549,359	3,738,909
リース資産(純額)	98,225	93,868
その他(純額)	727,508	695,009
有形固定資産合計	11,045,058	11,360,506
無形固定資産		
ソフトウェア	99,722	195,112
リース資産	7,078	8,504
のれん	—	78,160
その他	27,250	3,502
無形固定資産合計	134,052	285,280
投資その他の資産		
投資有価証券	894,131	829,978
長期前払費用	777	1,012
繰延税金資産	98,880	192,738
その他	833,294	874,833
貸倒引当金	△58,837	△57,904
投資その他の資産合計	1,768,246	1,840,658
固定資産合計	12,947,357	13,486,444
資産合計	24,893,181	25,667,487

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,795,876	2,904,829
短期借入金	5,048,856	5,962,964
リース債務	46,463	46,854
未払法人税等	268,035	106,133
賞与引当金	297,000	619,300
役員賞与引当金	46,551	57,771
その他	1,972,744	1,715,147
流動負債合計	10,475,525	11,413,000
固定負債		
長期借入金	1,707,860	1,675,448
長期末払金	125,704	180,254
リース債務	75,849	71,167
退職給付に係る負債	36,952	22,345
資産除去債務	53,453	53,514
繰延税金負債	—	24,255
その他	1,500	1,500
固定負債合計	2,001,319	2,028,485
負債合計	12,476,844	13,441,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	9,870,069	9,709,845
自己株式	△64,426	△73,178
株主資本合計	12,006,883	11,837,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	258,123	205,436
繰延ヘッジ損益	△1,350	△5,707
為替換算調整勘定	152,679	188,365
その他の包括利益累計額合計	409,452	388,093
純資産合計	12,416,336	12,226,001
負債純資産合計	24,893,181	25,667,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	10,596,147	10,792,760
売上原価	7,660,066	7,922,046
売上総利益	2,936,080	2,870,714
販売費及び一般管理費	2,678,890	2,886,951
営業利益又は営業損失(△)	257,190	△16,237
営業外収益		
受取利息	250	1,744
受取配当金	12,173	12,134
持分法による投資利益	5,480	13,014
長期為替予約評価益	89,925	-
為替差益	6,709	15,689
その他	6,625	9,923
営業外収益合計	121,165	52,506
営業外費用		
支払利息	8,768	9,084
長期為替予約評価損	-	50,371
その他	2,528	18,886
営業外費用合計	11,296	78,342
経常利益又は経常損失(△)	367,058	△42,073
特別利益		
固定資産売却益	-	518
特別利益合計	-	518
特別損失		
固定資産売却損	1,843	-
固定資産除却損	4,956	2,256
特別損失合計	6,800	2,256
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	360,258	△43,810
法人税、住民税及び事業税	157,188	78,066
法人税等調整額	△65,292	△75,658
法人税等合計	91,896	2,408
四半期純利益又は四半期純損失(△)	268,362	△46,219
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	268,362	△46,219

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	268,362	△46,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,426	△52,687
繰延ヘッジ損益	—	△4,357
為替換算調整勘定	△25,989	27,921
退職給付に係る調整額	6,889	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,345	7,763
その他の包括利益合計	△56,871	△21,358
四半期包括利益	211,490	△67,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	211,490	△67,577
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	業務用 食品等	ヘルス フード			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	9,494,020	1,102,127	10,596,147	—	10,596,147
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,494,020	1,102,127	10,596,147	—	10,596,147
セグメント利益	468,151	236,565	704,717	△447,526	257,190

(注) 1. セグメント利益の調整額△447,526千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△507,300千円及びたな卸資産の調整額59,775千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	業務用 食品等	ヘルス フード	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	9,643,245	988,733	10,631,978	160,781	10,792,760	—	10,792,760
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	123,014	123,014	△123,014	—
計	9,643,245	988,733	10,631,978	283,796	10,915,774	△123,014	10,792,760
セグメント利益 又は損失(△)	390,553	55,940	446,494	△531	445,962	△462,200	△16,237

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは運送事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△462,200千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△481,911千円及びたな卸資産の調整額19,663千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2019年4月1日付で株式会社井口産交の発行済株式の100%を取得したことに伴い、同社を連結子会社としております。この結果、当社グループは運送事業を開始いたしました。当第1四半期連結会計期間より運送事業につきましては、報告セグメントに含まれない事業セグメントとして「その他」に区分する方法で計上しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。